

令和5年度 学校関係者評価委員会報告書

1. 日時 : 令和6年3月19日(火) 14:00~14:50
2. 場所 : 専門学校福祉リソースカレッジ広島 WEB開催(ZOOM)
3. 参加委員 :
外部委員(学校関係者評価委員)
社会福祉法人ビタ・フェリーチェ 地域活動支援センター 施設長 岡田 妙子 様
Office M&W 合同会社 指定障害福祉サービス事業所 渡邊 美加 様
卒業生代表 1 名
本校教職員
校長、今井、栗原、米田

4. スケジュール

- (1) 開会あいさつ
- (2) 議題
 - ①令和5年度「自己点検・自己評価(学校評価)」について
 - ②令和5年度「学生の動向」について
 - ③その他
- (3) 質疑応答及び意見交換
- (4) 閉会あいさつ

≪(2)についての協議内容≫

- ① 令和5年度「自己点検・自己評価」について
令和5年度「自己点検・自己評価票」に沿って報告。
- ② 令和5年度「学生の動向」について
資料「学生の動向」に沿って報告。入退学者状況、現在籍学生年齢分布別状況、就職状況、資格取得状況について報告。

(3) 質疑応答及び意見交換

- ・委員・・・「自己点検・自己評価」について、「学校運営」にある「コンプライアンス」とは、具体的に何をさしているのか。例えばどのようなことがあげられるか。
→本校教職員・・・個人情報の取り扱い等について説明した。

- ・委員・・・次年度は新カリキュラムになる。実習の中でできるだけ多くを吸収するための「準備」となるような授業内容を提供していきたい。
- ・委員・・・アルバイトやボランティアも重要である。実際に利用者と接することができる良い機会。学生の中から触れていただくということはとても大切なので、声掛けをしていくことが必要だと思う。
- ・委員・・・卒業生とは、卒業後もかかわりを持ち続けてほしい。そして、卒業生の活躍を知っていただき、在学生に伝えていくことをお願いしたい。
- ・本校教職員・・・どのような人材が求められているのかを知りたい。委員の考える「求められる人材」についてお聞かせください。
 - 委員・・・グループホームでは、業務が主に夜間なので、利用者と日中にかかわることができない。そのため、日中の利用者の姿が想像できないことがある。日中のことを知ってから、グループホームに来てほしい。グループホームが求める人材は、日中支援の経験があること。
 - 委員・・・知識だけでなく、探求心や柔軟性のある人材を求めている。精神保健福祉士は知識を持っているだけでは利用者の課題解決ができない。価値観や倫理観を持てるように、日ごろの授業のなかで触れていただけるとありがたい。授業では、知識だけでなく、人間性に触れるものがあるとよい
 - 委員・・・知識だけでなく、人間性や協調性、謙虚さをもっていることが重要。
- ・本校教職員・・・授業評価について、学生から評価をうけることについて、どのように思われるかお伺いしたい。
 - 委員・・・その都度評価いただけるとありがた。フィードバックはほしい。
 - 本校教職員・・・授業のコマ数をすべて終えて評価アンケートを実施することを想定している。
- ・本校教職員・・・卒業後のキャリア形成についてお尋ねしたい。
 - 委員・・・どのようなかたちでも良いので、学生とかかわりを持ち続けることが必要。
 - 委員・・・戻る場所があるということは心強い。学校がそういった場になれ

るとよい。卒業後直ぐは学生同士もつながっているが、年月が経過するとともに希薄になっていく。何年たっても帰る場所として学校があり、かかわり続けていくことが大切。

- ・本校教職員・・・施設での職員育成として、どのような取り組みを行っているか。
 - 委員・・・個々人に対しては、毎週一回、金曜日に気づきや困っていることを話してもらう機会を設けている。全体に対しては、施設内での研修会だけでなく、外部の研修会等にも参加してもらう機会を積極的に設けている。
 - 委員・・・新入職員には最低限守らなければならないことについて、OJTの研修を行っている。その他の職員に対しても月一回の研修は実施している。

(4) 閉会あいさつ（校長）

様々な観点から学校教育について見直し、今後も現場の方々の意見をいただきながら、よりよい福祉人材の育成について尽力していきたい、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。